

2022年度 つむぎ 荻窪ルーム 職員アンケート改善策報告

いつもつむぎをご利用いただき、ありがとうございます。職員アンケートの結果および改善策の報告をいたします。
 今後も支援の質向上に努めてまいりますので、お気づきの点などございましたら、施設長またはスタッフにお気軽にお知らせください。

	質問内容	平均スコア	改善策・ご意見への対応について	
体制設備・環境について	Q2	入口や支援室、カフェ、トイレなど、ルーム内は清潔、整理整頓され、子どもが活動するに当たり安全な環境であるか。	4.3	来所される全ての方に清潔で安心して過ごしてもらえる事業所を目指してまいります。今年度はワックスの変更により、床の状態も改善できました。引き続き安全管理に努めてまいります。
	Q3	職員の配置数、職員の専門性は適切であるか。	3.6	引き続き配置基準を遵守しながら、運営してまいります。
	Q4	業務中の休憩および休暇は適切に取れているか。	3.8	急な欠勤などが発生した場合でも、スタッフ全員でフォローできる体制づくりを心掛けております。
	Q5	ルーム内の環境や支援員の人員体制について、ご意見をお聞かせください。		引き続き適切な環境設定、人員配置を遵守し運営してまいります。
業務改善について	Q6	業務改善を進めるためのPDCAサイクルに、広く職員が参加しているか。	3.8	毎月の園会議でスタッフの意見を聞くことや、スタッフと面談を行いながら設定した目標の進捗状況を確認しつつ、計画の見直しやアドバイスを適宜行っています。
	Q7	保護者にアンケート調査等を行い、保護者の意向や意見を把握し、業務改善につなげているか。	4.1	今期も非常に多くのご意見を頂くことができました。頂いたご意見を参考に業務改善に努めてまいります。
	Q8	この自己評価表の結果を事業所内掲示やホームページなどで公開しているか。	4.2	園内の掲示板に結果を公表し、HPIにも公開予定です。また自治体への提出も行っております。
	Q9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4.0	内部監査を年に2回実施しており、法人のガイドラインに則った正しい運営を心掛けております。また行政からのモニタリングも定期的の実施しており、業務改善につなげております。
	Q10	職員の資質、療育スキル向上のため研修の機会を確保しているか。	4.4	園独自の勉強会だけではなく、法人のスキル講座や行政からご紹介頂いている講座等にも積極的に参加できるよう配慮しております。
	Q11	業務改善について、ご意見をお聞かせください。		意見の出しやすい環境づくりを心掛け、必要な場合には都度業務改善をしております。
適切な支援の提供について	Q12	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか。	4.2	標準化したツールのみを活用しております。また子どもの状況を把握するためにこれらのツールを活用して相談支援事業所とのやり取りをさせて頂いております。
	Q13	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で個別支援計画を作成しているか。	4.6	保護者様からの聞き取り、子どもの行動観察の時間を設け、その結果をもとに児童発達支援管理責任者とスタッフで会議を行い、個別支援計画を提示させて頂いております。
	Q14	グループ活動や個別支援のプログラムは、支援目標に沿ったものになっているか。	4.1	スタッフ同士で支援目標を共有することはもちろん、活動の前にはプログラムの「ねらい」を提示したり、個別・グループ支援関わらず丁寧なフィードバックを心掛けております。
	Q15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4.2	発達に合わせた運動や季節に合わせた工作など、子どもたちが主体的に活動できるプログラム作りを心掛けております。
	Q16	プログラム開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる内容や役割分担について確認しているか。	4.4	各グループ毎にリーダーがおり、事前にミーティングを行う時間を設けております。リーダーを中心にその日の活動について確認できる体制を整えております。
	Q17	支援終了後には、職員間で必ず支援の振り返りを行い、気づいた点などを共有しているか。	4.4	準備同様に振り返りの時間も設けております。その日の状況により連続した時間で振り返りの実施ができない場合でも、別の時間に担当者で集まり、必ず振り返りをするよう徹底しています。
	Q18	日々の支援内容を正しく記録し、支援の検証・改善につなげているか。	4.3	支援内容は毎回必ず記録を残しています。記録の内容についても児童発達管理責任者から適宜指導を受け、スタッフ全体でより良い記録、検証、改善に繋げております。
	Q19	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断し、適用期間内に次期個別支援計画の説明ができていくか。	4.4	半期に一度のモニタリングだけでなく、都度、個別支援計画の見直しも行ってまいります。
	Q20	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせることで支援を行っているか。(自立支援と日常生活の充実のための活動、創作活動、地域交流の機会の提供、余暇の提供など)	4.3	畑で関わる地域の方や所属園、関係機関との連携を継続し、支援に活かしていきたいと思っております。
	Q21	適切な支援の提供について、ご意見をお聞かせください。		スタッフ同士で学びを深める時間が取れていると複数のコメントを頂きました。
保護者との関係連携について	Q22	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4.3	支援後の振り返りだけでなく、指導をお待ち頂いている間のスタッフとの会話や、必要な場合には事業所内相談支援加算を活用しながら、子どもの情報共有を行っております。
	Q23	所属の幼稚園や保育園等と連携し、相互理解や支援のアドバイス等に務めているか。	4.3	園と調整しながら園訪問を実施しております。お電話での情報共有や、書面でのやり取りも行ってまいります。
	Q24	児童発達支援事業所同士で連携をとり、情報共有、相互理解に務めているか。	4.3	つむぎ阿佐ヶ谷ルームとの情報共有や、相談支援事業所との定期的なモニタリング等、子どもの状況を相互理解できるよう努めてまいります。
	Q25	児童発達支援事業所から放課後等デイサービス事業所へ移行する場合、それまでの支援内容などの情報を提供するなどしているか。	4.3	就学支援シートを活用しながら、子どもの発達について共有させて頂いております。

保護者との関係機関について	Q26	児童発達支援センターや発達障害者支援センターなどの専門機関と連携し、助言や研修を受けているか。	4.2	新人を含め、スタッフには定期的に研修を受けさせております。引き続き自分で学びたい研修や行政主催の研修に参加させ、他のスタッフへ共有の機会を設けたいと思います。
	Q27	地域自立支援協議会や社会福祉協議会など、地域連携を図るような会議に積極的に参加しているか。	3.9	各協議会に定期的に参加をさせて頂いております。頂いた情報はしっかりとスタッフに共有しております。
	Q28	障害のない子どもと活動する機会を設けているか。	3.3	戸外活動で公園に行った際には、地域の子どもたちと交り合って活動できるようにするなど、可能な限り機会を提供できるよう努めています。
	Q29	事業所の行事に地域住民を招待するなど、地域に開かれた事業運営を行っているか。	3.3	就学についてや病院受診など、様々な座談会を開催し、保護者様の子育てに関する悩みや解決策を共有する場を設けております。
	Q30	保護者の子どもへの理解力・対応力の向上を図る観点から、保護者の状況に合わせた適切な支援を行っているか。	4.3	事業所内相談支援を活用し相談の時間を設けたり、必要に応じて検査を踏まえたフィードバックを活用するなど、子どもの成長について保護者様としっかりと話し合う時間を設けております。
	Q31	関係機関や保護者との連携について、ご意見をお聞かせください。		今後も関係機関との連携し、支援に活かしていきたいと思います。
保護者やお子さまへの対応などについて	Q32	契約、支援の内容、利用者負担などについて丁寧な説明を行っているか。	4.4	契約時には丁寧に説明させて頂いております。ご不明な点があればいつでもご相談ください。
	Q33	保護者からの子育ての悩みなどに対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	4.4	事業所内相談支援を活用し、子育てに関して相談できる環境を整えております。普段の振り返りだけでは時間が足りない場合にはご活用ください。
	Q34	保護者同士が集まれる場の提供など、保護者同士の連携につながる支援を行っているか。	4.4	座談会や勉強会を実施しております。保護者様のニーズを聞きながら今後も計画していきたいと思っています。
	Q35	子どもや保護者からの苦情があった場合、迅速かつ適切に対応しているか。	4.4	毎年、アンケートで貴重な意見を頂きありがとうございます。対応可能なご意見には迅速に対応し、時間を頂くものに関しても十分に検討していきたいと思っています。
	Q36	掲示物やホームページなどで、活動内容やイベント開催告知など、子どもや保護者に対して情報を発信できているか。	4.4	毎月ブログにて活動の様子を発信しております。また体験学習や座談会に関してはできる限り早めにご案内できるようにしていきたいと思っています。
	Q37	障害のある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしているか。(例:分かりやすい言葉がけをしているか、専門用語を使い過ぎていないかなど)	4.4	子どもに対して分かりやすい言葉掛けだけでなく、環境設定も意識するようにしています。専門用語は使わず平易な言葉を使うよう心掛け、振り返り際には分かりやすくご説明できるよう意識しております。
	Q38	個人情報の取扱に十分注意しているか。	4.3	個人情報に分かる資料は全て鍵のかかる書庫で管理し、廃棄する際も厳重に管理しています。
	Q39	職員同士の連携や情報共有は適切に行われているか。	3.8	朝礼、夕礼等での共有だけでなく、必要な際には管理者を中心に話し合いの時間を設け、情報共有を心掛けております。
	Q40	保護者や子どもへの対応などについて、ご意見をお聞かせください。		提供できる支援の充実だけでなく、普段から保護者様とのコミュニケーションを自然に行えるよう環境を用意していきたいと思っています。
非常時の対応について	Q41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを、把握できているか。	4.3	定期的にマニュアルの読み合わせを行い、改訂があった際には全員で確認する時間を設けています。
	Q42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練を行っているか。	4.3	毎月の避難訓練を実施し、それぞれの役割の確認や見直しがあればその都度変更するようにしています。
	Q43	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保するなど、適切な対応をしているか。	4.2	新しいスタッフを中心に行政が実施している虐待防止研修に参加し、他のスタッフにも共有するようにしております。
	Q44	ヒヤリハット事例集を作成して、事業所内で共有しているか。	4.4	毎日、朝礼にてヒヤリハットを共有するようにしており、園会議ではその月のヒヤリハットやインシデントを共有し、その改善策について全員で共有するようにしております。
	Q45	非常時の対応について、ご意見をお聞かせください。		非常時に訓練や未然に防ぐ対応について、引き続きスタッフ全体で危機意識を持って取り組んでいきたいと思っています。
満足度について	Q46	子どもはつむぎに楽しく通っていると思うか。	4.7	利用者アンケートでも「楽しく通えている」と多くのご意見を頂きました。今後もお子さまにとっても、つむぎが楽しい場所であるよう有意義な支援を提供してまいります。
	Q47	つむぎの支援を通じて、子どもの変化や成長を実感することがあるか。	4.6	子どもの発達を保護者様と共に分かち合いながら、常に子どもにとって最善の支援を提供できるようスタッフ一丸となって取り組んでいきたいと思っています。
	Q48	設問事項に関わらず、ご意見・改善点などなんでもお聞かせください。		お忙しい中、貴重なご意見ありがとうございました。今後もつむぎの支援をより良いものにできるよう、ご意見を頂戴できると幸いです。

アンケート実施期間:2022年8月12日~9月5日
全回答数:9

つむぎ 荻窪ルーム
施設長 井坂 僚